





時はなんとなく  
昭和の初め  
『華族』という  
セレブな身分が  
あった頃



ここは主にその  
子弟が通う  
『帝都院高等学科』

若君様の恋愛

そこには  
華族のみが  
入室を許される

特別な  
社交場があった



やんごとなき

# 若君様の赤愛

格付1



その名も  
「紳士倶楽部」

なんのひねりも  
ないその  
社交場は

# Gentlemen Club

「眉目秀麗な華族様」  
と謳われる  
公爵 東芝恒義の嫡男  
東芝操とそのおとりまきが  
席巻していた



東芝操様  
肖像画



あの肖像画は  
まるでお写真の  
ような出来で  
素晴らしいですね

ああ そうだろう  
僕も大変気に  
入っているのだ

まあほんの少し  
だけ格好良く  
描かれ過ぎな気も  
するのだが

いいえ！  
そのような  
ことはありませんよ



ならば仁が  
持って来た  
英国土産の  
紅茶はどうだ？

頭親！

ねー操俺  
珈琲じゃなくて  
紅茶が飲みたい

いいね！  
それにする



おん用意  
させよう

英国といえは  
操様

ほい  
砂糖と  
ミルクも  
入れてねー



今度英国帰りの  
方が編入して来る  
ことはご存知ですか？



所詮は絵ですから  
本物の操様には  
かないませんよ

そうかな

そうですよ！

もちろんです！

なんとー！  
英国からか!?

あゝ噂  
知ってるー

ええ今校内は  
その話で持ち  
きりなのですよ

お家柄が  
よろしければ  
社交場にお呼び  
してみても  
いかがですか？

操様のお好きな  
英国のお話が  
聞けますね！

それはじつに  
いい案だ！

然るべき  
身分の方で  
あったら

ぜひともその  
編入生を我が  
社交場に迎え  
よう！

操様は本当に  
英国がお好き  
なのですわ

ああ！  
あの国は  
素晴らしいぞ

経済  
産業  
文化

学ぶべき  
事柄が  
多くある

それに英国には  
僕の大切な人が  
いるから

とても  
親近感が  
わくのだ

あ  
あ

あ  
あ





意外と  
年上シュミ  
なんです

イメージ

ほ

僕が五つ時から  
五年ほど常盤とは  
兄弟のように  
過ごしていたのだが

その後は家柄の  
ことなど色々あつてな

なかなか会えなく  
なつてしまったのだ

操さん

そして僕が十二に  
なつた頃  
ある日突然  
英国に留学して  
しまったのだ

忘れられない  
大切な人  
だった故

英国と聞くと  
つい思い出されてな

だから  
興味もわいて  
くるのだ

ちぎっしんみみ

それはさぞや  
今もトキワ様と  
お会いしたい  
でしょうね



お家柄さえ  
問題なければ  
今頃はご婚約  
でもされていた  
のでは？

うむ…

け

いや

常盤は

東家の  
ご婚約  
ナゾが  
豪華なので

とすね



あ！

常盤は甲…なぞが

ねー話は  
もう終わった？

ぬ

操はトキワの話になると  
すぐ思いに耽っちゃうから  
つまんないよ



ご歓談中に  
失礼します

操さん一つ  
お願いがある  
のですが

おお仁！  
どうした？

実は今  
僕の友人が操さんに  
ご挨拶したいと  
来ているので

あ、トキワ